

青年教職員は今

2018 年度版

ーアンケート結果から見る若い教職員の思いー



東京教組青年部

青年教職員は今 ―アンケート結果から見る若い教職員の思い 2018 年度版―

青年部が毎年実施している「東京都で働く若い教職員の方々へ」と題するアンケートに、今年は240名（昨年度277名）の皆さんが回答を寄せてくださいました。

今年も不安や悩みや、長時間勤務、パワーハラスメントに苦しみながらも、働きがいを持って頑張る青年教職員の姿までが浮き彫りになりました。

回答してくださった240名の内訳は、小学校177名（74%）中学校63名（27%）でした。

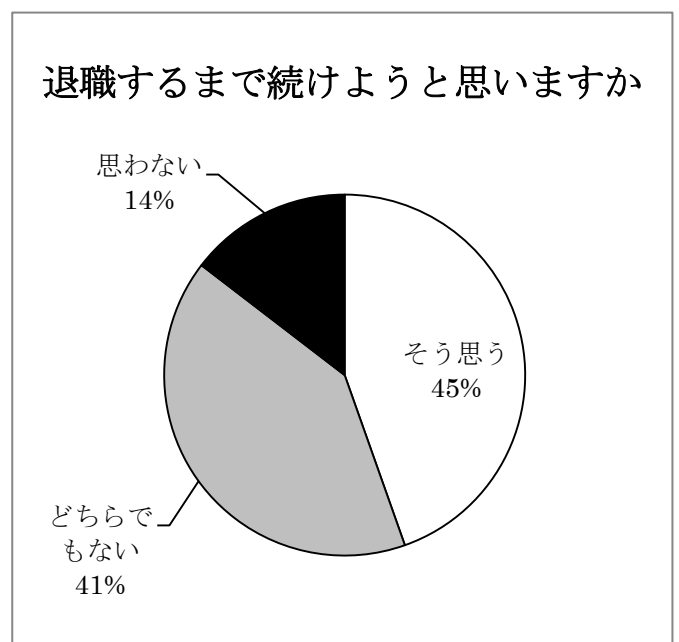
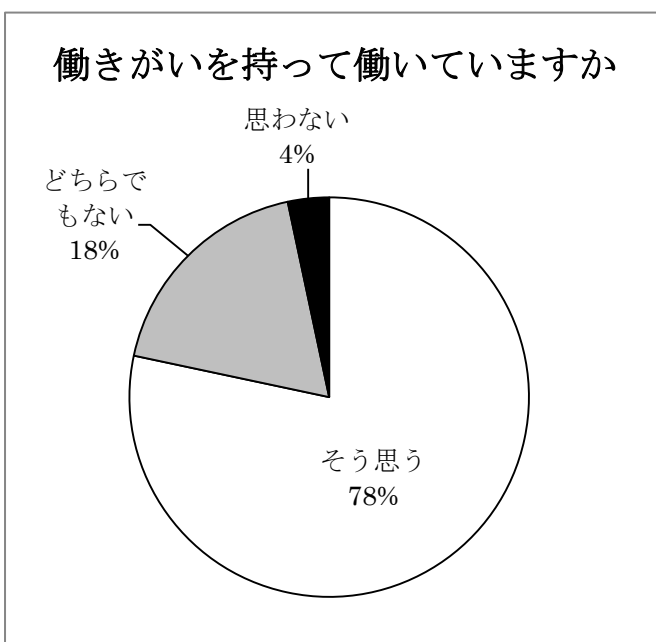
新採用が一番多く92名（うち期限付任用19名）に続き、2年目91名、3年目27名、4年目以降23名、産育休補助教員7名、その内、学級担任が147名（62%）でした。

働きがいを感じ、退職まで続けようと考えている青年教職員

最初の質問、「働きがいを持って働いていますか？」に対し、「そう思う」が78%（87%）、「どちらでもない」が18%（11%）、「思わない」が4%（2%）でした。

また、「退職するまで続けようと思えますか？」という質問には、「そう思う」が45%（53%）、「どちらでもない」が41%（35%）、「思わない」が14%（12%）という結果でした。

（ ）内は昨年度の数値



ほとんどの方が、働きがいがあると答えていらっしゃいますが、退職するまで続けようと思っている方が大きく減っているのが、気になります。

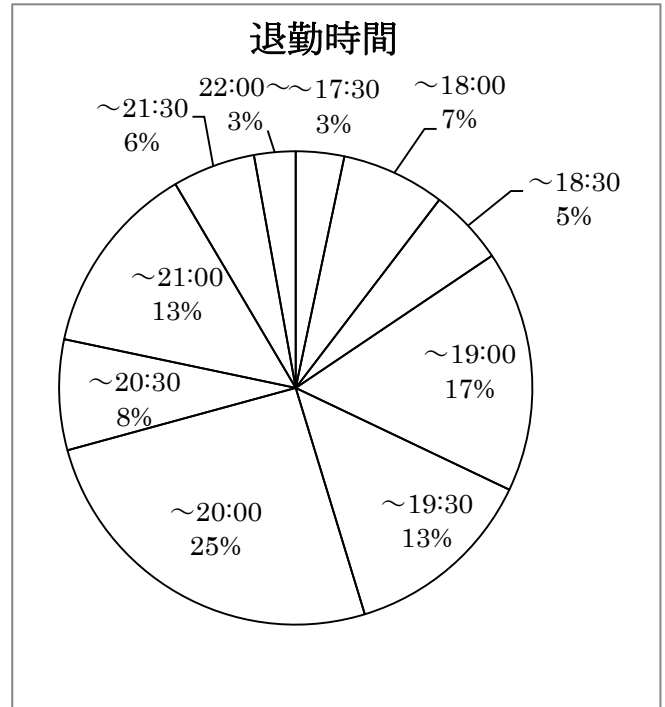
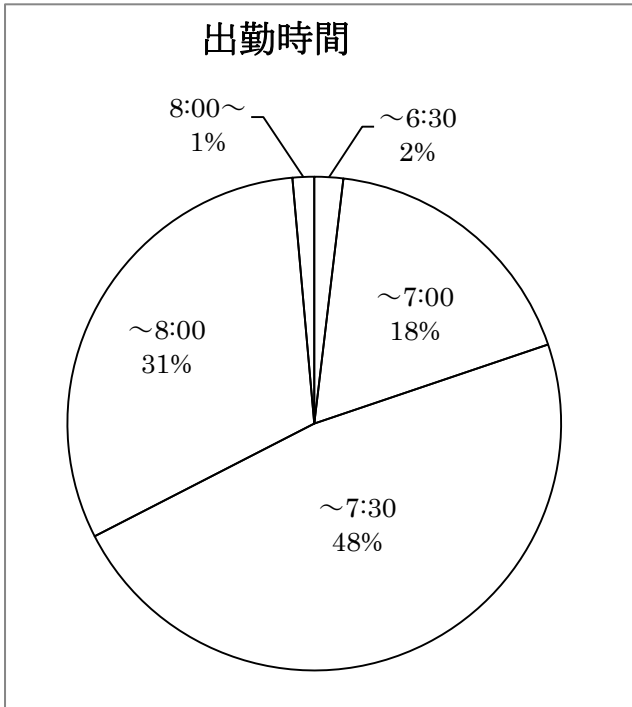
過酷な勤務実態からの、健康への不安、将来への不安などによるものと思われます。このような声が寄せられています。

- ・仕事量が多く、夜9時まで残ることも多い。結婚したばかりで、いずれは子どもが欲しいが、家庭と仕事を両立できる自信がない。
- ・子育てとの両立は不可能であると感じています。
- ・教員になりたい人が減っているのは、仕方ないと思います。ブラック企業を超えていると思います。せっかく合格してもこれだけひどい環境だと、頭のよい人や賢い人は、教員にならないです。ずっと我慢し続けられる人のみ、残る世界だと思います。私は来年で辞めるつもりです。

在勤時間は、平均 12 時間 19 分！

1 日、15 時間以上勤務の人も！！

出勤時間、退勤時間についてお聞きしました。



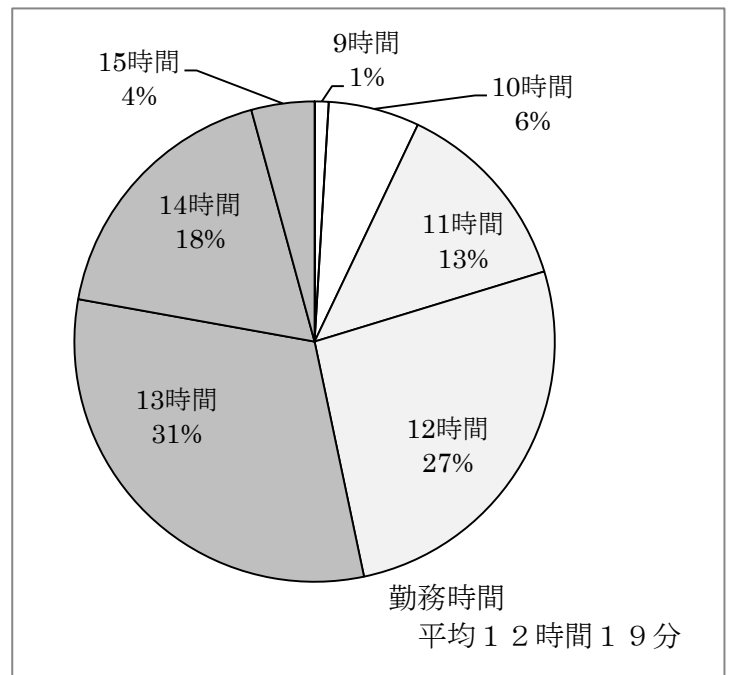
出勤の平均は、7 時 27 分

退勤の平均は、19 時 46 分

青年教職員の長時間勤務の実態は、非常に深刻な状態です。

今回のアンケート結果では平均在勤時間 12 時間 19 分（昨年より 7 分減、一昨年度より 19 分増）。実際にはとれていない休憩時間を差し引いても、毎日の超過勤務が 4 時間近くにもなってしまいます。長時間勤務は悪化しています。

毎日 11 時間以上勤務の人が 93%（91%、一昨年度 91%）。労働安全衛生法に基づき医師による面接指導が必要な月 80 時間以上の超過勤務の人が 80%（80%、一昨年度 75%）医師による面接指導が義務付けられている月 100 時間以上の人 は 53%（52%、一昨年度 50%）1 日で 2 日分近い勤務時間となる 15 時間以上の人が 4%（3%）です。管理職は、どこまでこの実態を知っているのでしょうか。



労働基準法では、労働時間は 1 日 8 時間・1 週 40 時間と定められています。これを超える労働は時間外労働となり、基礎賃金の 25 パーセント増し以上の割増賃金（残業代）を支払わなければなりません。また、1 ヶ月に 60 時間を超えたときは、基礎賃金の 50 パーセント増し以上の割増賃金（残業代）を支払わなければならないとされています。

このため民間企業では、労働時間を正しく把握すると同時に無定量の残業を抑えるため、残業す

る場合、管理職に報告し、許可を得ることが必要になっています。(いわゆるサービス残業が発生していることも事実ですが)

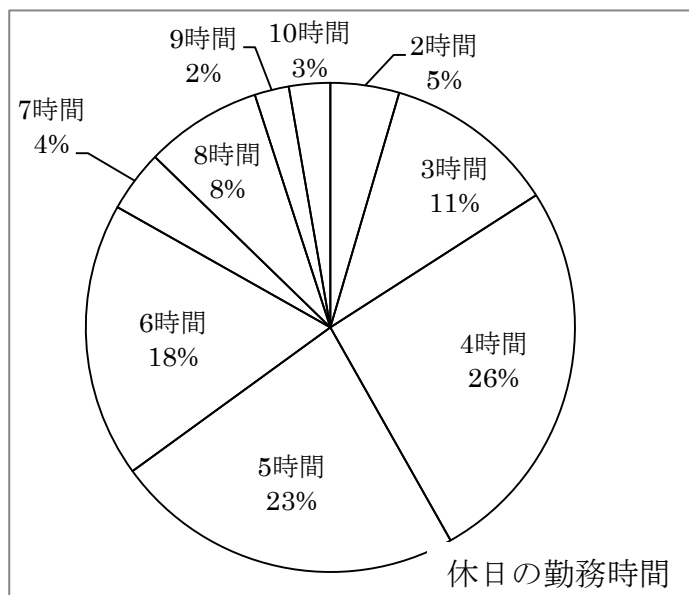
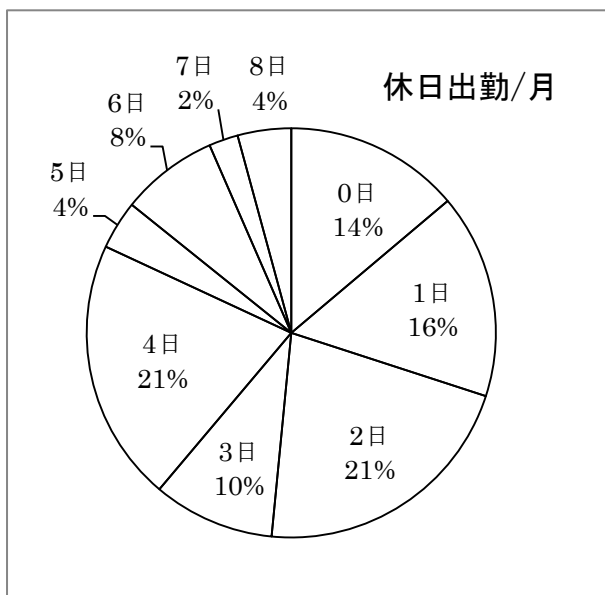
私たち教員には割増賃金は適用されませんが、管理職は労働安全衛生法上、正しい労働時間を把握しなければなりません。そして過度な超過勤務に対しては、減らすよう努力しなければなりません。

東京教組は、過重労働解消に向け、とりくみを強めていきます。

休日勤務も増えている！

もちろん休日出勤が0の方もいらっしゃいますが、ほとんどの方がさまざまな理由で、土日も出勤されています。それも4時間以上勤務が80%を超えています。とくに中学校では部活動の関係でほぼ100%の方が、6時間以上の勤務をされています。また、土曜授業・授業参観は勤務の振替が長期休業中になるため、疲れがとれないという訴えも多く聞きます。とくに青年教職員は、地域行事等の休日出勤を割り振られることが多く、大きな負担になっています。

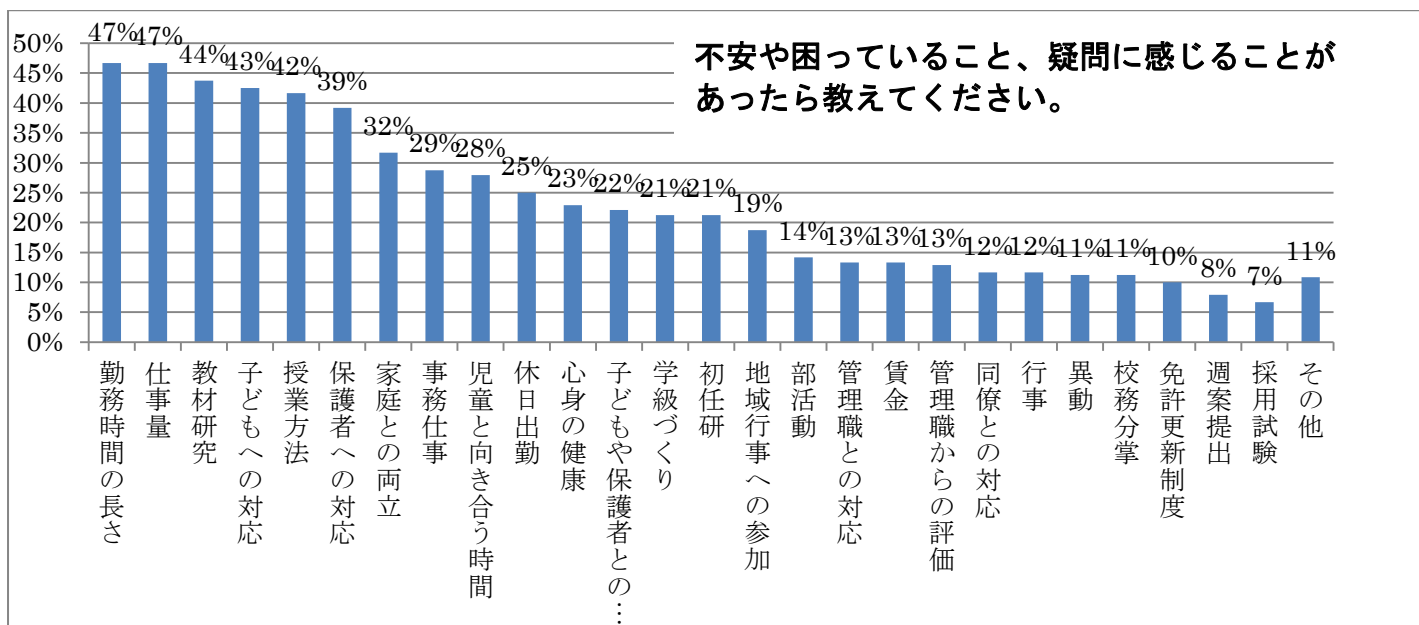
- ・プライベートなはずの土日に、地域の行事等に強制参加させられます。「若いから」とか参加してくれるよう「頼みやすいから」という理由で参加させられ、いつも決まった人間が参加させられています。輪番制にしてほしいのですが、そうも言えず(そんなことを言ったら職場にいらなくなる)だまって耐えています。夜の会議(6:00～9:00)や移動教室の見送り(朝6:30集合)も若手は強制参加です。心が壊れそうになることがあります
- ・部活動の負担が大きい。例年、都大会出場校ということもあり、試合が毎週ある。春の大会が終わってすぐ夏の大会なので、1学期は、土日の休日が全くとれなかった。



青年教職員は、勤務時間の長さ・仕事量・教材研究・授業方法に不安を感じている。

「不安や困っていること、疑問に感じることなどがあったら教えてください。」という問いで、最も多かったのが「勤務時間の長さ」「仕事量」です。続いて、「教材研究」「子どもへの対応」「授業方法」に40%以上の方が、「保護者への対応」「プライベートや子育てや家庭との両立の時間の確保」に30%以上の方が不安や疑問を感じています。

青年教職員は、①仕事が多すぎる。長時間勤務を何とかしてほしい、②教職員として力をつけたいと、感じていることがわかります。



その他・自由記述欄には、具体的な悩みや疑問が寄せられました。一部を紹介すると、

- ・勤務時間と仕事量のバランスの悪さに困っています。
- ・勤務時間の長さはどのように効率よく行えばよいか、とても悩みます。まだ新採だから仕方ないのかと思うこともあります。先輩の先生方も遅く、将来が不安です。(子育ての時など)
- ・一度職場に入ると、1分たりとも休憩時間がない。設定されている休憩時間に、委員会や給食指導が当たり前のように入ってくる。
- ・会計事務は、教員の仕事ではないと思う。宿泊の会計も、大変時間がかかる。子どもと向き合うのが教員の仕事であってほしい。
- ・自宅から1時間以上通勤にかかるのに、たった2時間の地域行事への参加のために出勤するのは大変です。
- ・運動部は大変。活動日が多い。試合が雨で延期になりスケジュールがたてにくい。毎週土曜日が部活でつぶれる。日曜に試合があると、休みがなく、13連勤になってしまう。
- ・今後、子を産み育てながら働く自分を、想像することができません。

研修の回数・レポートが多い、現場で生かせる内容に！

初任者研修、2、3、4年次研修について、困ったこと、疑問に感じたことなどを記入式で聞きました。

研修の回数が多く、本務である授業や子どもたちと向き合う時間が犠牲になっている悩みが多く寄せられました。研修内容や同期との情報交換など役に立つという声がある一方で、実際の授業や教育活動に役立つ内容を願う声も多く寄せられています。特徴的な記述を紹介します。

回数、時期、内容、レポート量

- ・初任研が多く感じた。クラスに補教を立てる日が多く、落ち着かなかつた。
- ・初任研は回数がかかり多かつた。仕事に慣れずいっぱいいっぱい、それどころではないのに。
- ・宿泊研のお盆明けすぐという時期は、しんどかつた。初任だったので、もう少し実家でのんびりしたかつた。
- ・学級担任、専科、特別支援教員など、仕事内容に合う研修をしてほしい。
- ・道徳のことばかり。来年度の教科化のこともあり、重要なものわかるが、教科の研修もきちんと受けたい。
- ・実践的な現場で役立つことを教えてほしい。

- ・研修に行ったとき、その場で書くものと後日提出するレポートと、内容にあまり差がなく片方だけでよいように感じる。

研修・研究授業

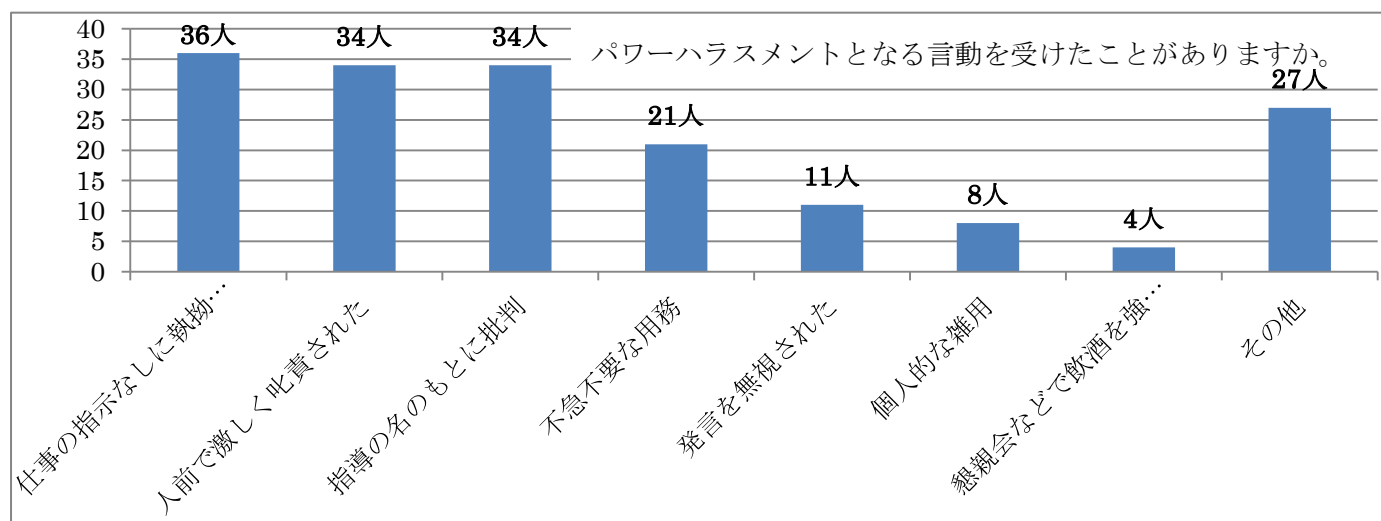
- ・年3回の研究授業は多い。指導案を作成する時間がない。行事があるとそれに追われる。
- ・自分の知りたいこと、見てほしいところを中心に指導してほしい。
- ・毎月の巡回指導の度に指導案を作成・送信して、授業後に1時間が入るのがとっても大変だった。ためになるのは分かるしありがたいが、それ以上に睡眠時間が削られてしまう苦しさがあった。

研修・その他

- ・産休代替で3年勤務してから、初任研を受けた。産代のときも様々な研修をしてきたのに、内容が今さら感があった。
- ・初任研において、「24時間研修だとか勤務時間外など関係なく働け」という発言があった。今の時代に、この発言はふさわしいのか疑問に感じる。
- ・教員に勤務時間外という概念はないという発言を宿泊研でしていた。
- ・宿泊研の外出禁止には驚いた。勤務時間外にも研修内容が設定されているのもおかしいと思う。
- ・宿泊研修で、朝や夜のレクリエーションなどの勤務時間外のものまで出席管理されているのはおかしい。できればきちんと調整給や手当をつけるべき。
- ・夏休みなど、子どもがいない時などに研修を行うなどして欲しい。子どもが気がかりな中、有意義な研修ができるのか疑問だ。
- ・私学や他県の教員経験者は、多少研修の免除があっても良いと感じた。同期で十年以上他県で教員をしていた人がいて、宿泊研にまで参加していて、疑問に感じた。

パワハラを受けたと感じたことがある人 88人（37%）

パワーハラスメントは、今や働きやすい環境、モチベーションの最大の阻害要因になっています。



具体的な記述を紹介します。

- ・学年主任は意見の相違や指摘に対して怒鳴り、伝達はメモのみで協力は無です。またそれを指導せずに放置している、機嫌をとっている管理職も問題だと思います。抗議、相談すると異動しろと言われました。
- ・机の中にゴミを入れられた。顔も見たくないから授業見学に来るなど言われた。学年会での発言権をなくされた。懇親会での激しい叱責。
- ・子どもからのアンケートをもとに私が授業中に「バカ」といっていると指導されたが、私は「バカ」などとは言っていない。そのことを訴えても聞いてもらえない。私が悪いとなっている。

- ・初任の時、「身も心もすべて学校に捧げてください」「恋愛は1年間しないで」と言われた。
- ・マタハラにあっています。定時退勤すると、あなたが帰ってから仕事が始まるとたびたび言われる。
- ・妊娠したら、「子どもがほしいと思っているけれど、他の先生との兼ね合いも考えて順番待ちしている先生がいるのに、『おめでとう』とは言えない。」と呼び出されて言われた。
- ・結婚や出産について、「さっさとした方がいいぞ」等の不要なアドバイスをされたり、「お前は仕事できねえからな」など言われ傷ついた。
- ・子どもの前での激しい叱責は、もともと少ない子どもたちからの信頼がより少なくなってしまうので、できれば避けてほしいです。

アンケートは、最後に自由記述で「採用試験・面接・また中途採用などで困ったこと、おかしいと感じたことはありませんか。」と「その他、自由に書いてください。」の欄を設けました。自由記述の欄にもびっしりと職場で困っていること、知りたいことを書いてくれた人がたくさんいました。

今年度も期限付き任用の不安、疑問が多数！

- ・期限付任用教員の制度に疑問を抱くことが多々あります。仕事量や責任などは正規採用と何も変わらないのに、権利の面で不利になる場合があったり、仕事に加え採用試験の準備をしなければならず、負担が大きいです。
- ・期限付の制度はなくなってほしいです。通常に仕事をして、部活も一人で誰の指導もなく土日働いた後、採用試験で落ちると言うのは、正當に評価されたのか疑問に思います。少なくとも最も多忙で慣れない1学期だけで評価するのはおかしいと感じます。
- ・私は期限付任用が何年も続き、そのうち二年半は全く声がかかりませんでした。いつ声がかかるかわからないので定職に就けず、経済的・精神的に苦労しました。

面接、選考、配置への不安、不満

- ・短い時間の中で、その人の人柄を知ることが本当に難しいことなんだと思います。マニュアル通りの質問ではなく、臨機応変な対応が求められる質問や場面設定、実際に褒めさせたりするようなことをさせると、その人の人物像なども見えてくるのではないのでしょうか。
- ・産育休代替教員など、経験年数を重ねれば採用に活かされる制度になってほしいです。経験していても、もう一度初任研を受けなければならないのが、おかしいと思います。

職場環境、職場の人間関係などの悩み

- ・どこまでが自分の仕事かわからず、知らぬ間に仕事を押し付けられているときがあります。また、養護教諭は学校に一人しかおらず、相談できる相手が少ないので、どうしても前任の先生や他校の養護教諭に電話するのですが、手が空いていない場合も多く解決までに時間がかかります。
- ・常に仕事に追われ、時間がない。放課後の指導やその後の保護者連絡を含めると、20時はすぎる。部活にもなかなか顔を出せない。急いでやりたいけど、ミスするのも怖いので、休日ゆっくり仕事をする。休みがない。仕事もできずに早く帰ると、変な空気になる。
- ・学校によって長年の文化や慣習のような無意味な行事など多く、放課後も思うように時間が自由にならず、毎日学校に勤務している状況です。家族のこともあり、休日も校務分掌や部活の為に全てがつかわれている現実です。新採用なので、しかたないのかと、あきらめています。

やりがいを感じる仕事、職場

- ・私の勤務校は、管理職や先輩教員がみなさん優しく、とても親切です。なので、たくさん仕事があっても、みなさんに支えられているので頑張れます。この仕事量でもし管理職等が不親切だったら、キツイと思います。
- ・去年もこのアンケートに自分の苦しい気持ちや勤務の実態などを知ることができ良かったです。今年は仕事にも慣れ、研究授業やレポートも少ないので、気持ちにも余裕があります。
- ・今の職業にやりがいを感じています。頑張ってもっと力のある教師になりたいと思っています。
- ・組合の存在は、必要だと思います。教員にとっての強固な後ろ盾があると、指導の自信と心の支えにつながります。

問題となっているいくつかの事例については、都教委・地教委に問題点を正し、改善されつつあるものもあります。

長時間労働

勤務時間把握など、働き方改革に関連する事業について、各地教委に財政支援をすることを決定させました。さらに、学校における働く方改革推進プランの実行化を強く求めています。

部活動

部活動ガイドラインの実行化を強く求めています。部活動指導員の確保について、高齢者を活用する動きができてきています。指導員の権限が強くなるよう求めています。

期限付制度

都教委に対し、期限付き制度の根本的な改善を強く求めています。

パワハラ

都教委、地教委に対し実例を報告し、解消を求めています。

相談を受け話し合いの中で、組合加入を決めた方がいます。組合として校長交渉を行い、職場環境が大きく変えることができました。仲間と交流することができたと言われています。

**困った時には、気軽に連絡を！！
力になります！ 東京教組！**

03-5276-1311
ホームページもご覧ください。

ttu@tokyokyouso.org

<http://tokyokyouso.org/>

東京教組で検索できます。

東京都公立学校教職員組合青年部